

4000字の短編小説「深大寺恋物語」の公募終了 審査員3氏が20年の歩みを振り返る

2005年から24年まで、毎年全国から多くの応募作品が寄せられた「深大寺恋物語」の審査員による鼎談会が2月8日たづくり12階の大会議室で開催された。登壇したのはともに直木賞作家である村松友視氏、井上荒野氏と文芸評論家の清原康正氏。豪華な講師陣は調布市の内外から駆け付けた120人の聴衆を前に20年間に及ぶ歴史を振り返り、小説を愛する人々へのメッセージを届けた。

深大寺地域の活性化事業として2004年に開催された「じんたいフェスタ」の理念を受け継ぎ、翌年から始まった文学賞には、20年間で累計6984作品が寄せられ、受賞作118点が選出された。08年に開館した調布市せんがわ劇場のこけら落とし公演では入賞作品のひとつが原作に採用されたこともある。

調布出身の井上氏は、舞台となった深大寺の魅力について「寺だけでなく、蕎麦屋も植物公園もある都会のエアポケット」と表現し、そこを背景にした恋愛を描く応募作品のレベルが年を追って上がってきたと感想を語った。村松氏は小説を書くうえで「最終的には自分を伝えること。ふさわしい文章を練り上げていくこと」と話し、清原氏は4000字以内という短編小説の難しさに触れ、「盛り上がったうえで、どこで落とすのが問われた」とまとめた。

市民有志による実行委員会が手弁当で運営を続けるなかで審査員との信頼も深まり、「選考の後、一緒にご飯を食べたが、こんなに実行委員会と仲良くなったのはこの賞が一番」と井上氏は振り返る。また、「他の人の作品は読まなくていい。感動するほど頭に刷り込まれてしまう」と清原氏が話すと、「本を読まないと書けるようにならない」「読書を重ねた大作家もいる一方で読んでいないと思わせる作品を書く人もいる」と他の二人が混ぜ返すなど、ユーモアを交えた数々のやりとりを聴講者は満喫し、2時間のライブ鼎談は熱気に包まれて終わった。(荻野博司)

調布のトイレカーが被災地の輪島で活躍中

大規模災害のトイレ対策として都内の自治体で初めて導入したトイレカーが被災地輪島に派遣され活躍中。洋式の水洗トイレ4室と多機能トイレ1室がある。市は一般社団法人「助けあいジャパン」の災害派遣トイレネットワークに参加して輪島に派遣した。



【提供/調布市】

調布消防署を市民に開放、起震車体験もできる防災訓練を実施

3月6日(木)に調布消防署で市民参加型の防災訓練がある(午前10時～12時)。起震車が来て震度4～6までの地震体験もできる。初期消火コーナーやポンプ車撮影コーナーもある。「消防署に来てもらい、防災訓練を体験してください」(予防課)と呼び掛けている。

2年ぶりに2月21日から「調布市暮らしの便利帳」を全戸配布

暮らしに役立つ手続きや施設の情報などを掲載した2025・2026年度版「調布市暮らしの便利帳」が2月21日～28日の期間で全戸配布。A4版で160ページ(広告含む)。「高齢者向けの福祉施設や子育て関係の施設、行政情報などを多数掲載しています」と広報部。家庭に置き暮らしに役立てたい。

【FC東京応援記】

ついに開幕したJリーグ。初戦の横浜FC戦は選手に硬さが見られかなり押された試合も新しい連携が見られ1-0の勝利。ホーム開幕戦は初戦の反省から連動した動きがみられたもののゴールへの意識が低く、一瞬のスキを狙われ負けてほしくなかった町田に0-1で敗戦。そして26日のホーム2戦目は東京OBも多い名古屋戦。力蔵新監督の懐の深さを見せた先発選手の起用が見事に当たって今シーズンの期待が大きく膨らんだ3-1での勝利。それぞれの選手が自分の特徴を出してチームへの貢献をしようとする姿勢と監督の手腕が非常に楽しみ。(東京イチロー)

ちょビット

No.43

調布社協 インフォメーション



調布市社会福祉協議会では、65歳以上で頼れる親族がいない方を対象に、定期的な見守り、入院・施設入所時の手続きや支払い等の支援、死後の葬儀・埋葬の支援等を提供する「あんしん未来支援事業」を実施しています。ご利用にあたっては親族関係の確認や資産額等の要件がありますので、まずはお気軽にお問い合わせください。

電話:042-481-7766

(ちょうふ地域福祉権利擁護センター)

2025年3月 番組表

＜調布市民放送局の番組を見ることができます＞



◆ 姉妹都市木島平村のケーブルテレビ「ふう太ネット」で放送中！

調布 C A T C H J:COM 111chにて1日2回放送

テレビ番組

月	火	水	木	金	土	日
8:25 17:25	8:25 17:25	8:25 17:25	8:25 17:25	8:25 17:25	8:25 17:25	8:25 17:25
1日 ～ 15日	<p>① CIFA ニューイヤーパーティー2025 パーティーには日頃国際交流センターで日本語を勉強している外国人をはじめ、市内在住の外国人や日本人、約120名が参加。満席になった会場では華やかなパフォーマンスが舞台上で披露されました。いろいろな国の人々が調布に集い仲良く、楽しく、過ごしたニューイヤーパーティー2025は、素晴らしい国際交流の場となりました。</p> <p>② リトルギャラリー：『カルトナーージュと縫わない小物で心地よい暮らし』ヨーロッパの伝統工芸で、厚紙で組み立てた箱などの表面や内側に、紙や布で美しい装飾を施すカルトナーージュ。調布市内でサロン(アトリエ リーフ)を主宰している妹尾美千代さんの縫わないバックや小物、老人ホームレッスンで造られた作品の数々と共にハンドメイドが身近にある暮らしをお楽しみください。</p>					
16日 ～ 31日	<p>① 『深大寺恋物語』20年の歴史に幕 深大寺地域を織り込んだ短編恋愛小説『深大寺恋物語』の公募が、20年の歴史に幕を下ろしました。番組では、この20年間の動きを振り返ります。そして、2月8日に20周年記念として開催された「文芸鼎談」の様をお伝えします。長年に渡り審査員を務めた直木賞作家の村松友視さん並びに井上荒野さん、日本ペンクラブ理事の清原康正さんが、応募作を読んで気付いたことや思い出などを語っています。</p>					



ラジオ

「調布わくわくステーション」(毎週月曜日、21時45分～22時00分)			
調布 FM: 83.8MHz HP からは、インタビューの様子を映像でご覧いただけます。どうぞお楽しみに！			
月	放送日	内容	ご紹介
3月	3日(放送)	宮本苑生の「詩の世界」	『花潜幸詩集・詩篇』から「薔薇の記憶」「母のパズル」他の朗読をお届けします。 朗読：峯田里香子
	10日(再放送)	花潜幸さんの詩の朗読	
	17日(再放送)		
	24日(放送)	W-minds(ウーマインズ) 女性農業者組織 代表 斉藤由美子さん 石森圭子さん	昨年12月 トリエ調布C館前で「マルシェ ドウ 調布」が開催され、W-minds の皆さんが出店されていました。消費者とのコミュニケーションを大切にしている活動について伺いました。 インタビュー 柴田紀恵子

HP

インターネットで、いつでもすべての番組を見ること・聴くことができます。👉 調布市民放送局で検索

<http://chofu-catch.or.jp/> (公式HP)
(すべての番組2015年～現在まで)

<http://chofu-catch.sakura.ne.jp/> (アーカイブサイト)
(すべての番組2004年4月～2015年3月)

<https://www.facebook.com/chofubroadcast> (フェイスブック支局) (2015年～)



【公式HP】

【アーカイブサイト】

【フェイスブック支局】



警察官を装う詐欺が急増 警察手帳や逮捕状の画像を見せる

特殊詐欺の被害が多発するなかで警察官を装う手口が急増している。まずニセの警察官を名乗る者から電話があり、アプリに誘導され警察手帳や逮捕状の画像を見せられる。調布警察署(電話042-488-0110)では「警察手帳の写真や逮捕状はスマホで示すことはありません」と注意喚起している。

自宅に1本 マイ消火器を備えましょう

住宅火災が多い季節。自宅に消火器を1本備えると初期消火に役立ちます。自宅用消火器の扱いは①ピンを抜く②ホースを火に向ける③レバーを押す。調布消防署(042-486-0119)では「この簡単な3つの動作で消火器は役割りを果たします。消火器はホームセンターなどで売っています」と話す。



＜ご意見・ご感想をお待ちしています＞ 同合わせ先 <http://chofu-catch.or.jp/contact> ☎ 090-5576-1429

郵便 〒182-0022 調布市国領町 2-5-15、調布市民プラザあくろす 2階 市民活動支援センター 気付

【編集・発行】NPO 法人調布市民放送局 (事務所) 〒182-0035 調布市上石原 1-48-14